

パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報

2016年7月1日 154号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護



パルマ通り



屋根瓦はスペイン式



市内バス



緑豊かなアスンシオンの街



先住民と日本人



大聖堂



Asunción



貨客船アキダバン（オリンポ港）

アスンシオン市のデータ (Wikipediaより)



市旗(上)と市章



建設：1537年8月15日

人口：525,294人(2016年)

人口密度：4,490人/Km²

首都圏人口：2,198,662人

面積：117Km²、標高(中央)：43m

日本との時差：-12時間

サマータイム：-11時間

年間平均気温：23°C

最高気温高値：41°C (10月～1月)

最低気温低値：-1°C (6月～8月)

平年の年間降雨量：約1,400mm

姉妹都市：千葉市、サンパウロ市、マドリード市、他

世界各地からレダを訪れるとき、パラグアイで最初に下り立つのが、首都アスンシオン(Asunción)です。全国の主要都市・近隣諸国と道路網で結ばれ、多くのバス会社が大型バスを運行し、市民の最も普通の交通手段となっています。レダ基地へは、ロマ・プラタまで約六時間半、その先是未舗装の道で、約十時間かかります。パラグアイ川の船旅をするには、陸路コンセプシオンに行き、週1便運航の貨客船アキダバン号に三日間乗って、ペルト・レダで下船します。急ぐ場合は、小型飛行機をチャーターすることもできます。皆様がアスンシオン到着時にどう感じるかは、季節によります。市街地は東京23区よりも緑が多く、季節ごとに色鮮やかな花が、庭先や公園などに咲きます。公用語はスペイン語ですが、日常生活ではグアラニ語も広く話されます。

「アスンシオン」とは、聖母マリアの昇天に由来する名称で、一般市民のカトリック信仰は、文化として日々の生活と社会の中に深く根を下ろしているように見えます。市内には数百年の歴史のある教会が多数あり、そのほとんどが現役で使われています。また、国家の公式儀礼行事や祝日なども、カトリックの伝統に則っています。日曜日が休みの店も多いので、買い物をするときなどは注意が必要です。

衛生と治安は、南米では比較的よい方ですが、スリや置き引きに注意すべきなのは、世界共通です。一般市民は人懐っこく、陽気で、音楽、ダンス、サッカーなど、躍動的なものが多く傾向があります。民族楽器アルパの音色は、人の心によく響き、私たちの口に合う美味しい料理も数多くあります。

パラグアイの玄関 アスンシオン市

去る三月十日に出発し、レダ基地で現地活動をして来た吉村敏明理事が、六月十四日、元気よく帰国しました。（インタビュー 小田）



カビバラは齧歯類(ネズミの仲間)で、木を齧ります。



レダ基地でカピバラの世話をする吉村理事。



カピバラの家。

Q レダではどんな業務を担当しましたか？

A ラック、トラクター、電気設備、水道施設など
の老朽化が進んでいたことに心を痛めました。
特に大山氏が使っているトラックは古くて不具
合が甚だしく、左右の窓ガラスはなくなり、ブ
レーキも正常ではない状態でした。

基地の吉村理事（寒い日）
レダ 基地で使っているト
五一月の放流式以後は、
一転して寒さに襲わ
れることが多くあり
ました。また、レダ
基地で使っているト
レダの印象は？



レダ基地の吉村理事（寒い日）

A Q レダの印象は?

です。熱中症にならないよう、こまめに水を飲みました。汗でしばしば作業衣がズぶぬれになるほどで、一日3リットル以上飲むのが普通でした。幸い病気やケガはありませんでした。日本で毎日一万二千歩以上歩いていたことで、レダの環境でも健康が守られたと思います。



吉村氏と佐野氏が6月3日のアキタバンで出発。

A レダは極度に人員不足で、専ら一つのことだけを担当していく。修理、カビバラの世話、ゲストを迎える準備ほか、あらゆることに東奔西走する毎日でした。

パンタナール研究所に表札

レダ基地のパンタナール研究所に、美しい木製の表札（看板）ができました。観音開きのドア二枚分の幅のある大きなものです。パンタナール研究所（中田実所長）は、養殖、農牧、植樹、



ラバーハンドの咲く季節になりました



元気よく出発。（6月1日、成田空港）

六月一日より、パンタナールにて奉仕と卒業論文の研究という目的で、南米パラグアイを訪れてています。帰国は半年後となる十二月初旬を予定しています。現在、パラグアイに滞在して十日ほどが経ちますが、今私はパンタナールではなく、スペイン語習得と現地の文化・風習を学ぶため、首都アスンシオンでパラグアイ人の青年たちと共同生活をしています。

パラグアイでの生活は想像以上に苦労も多く、パラグアイ人との言葉の壁、文化の壁を痛感する毎日です。パラグアイでは日本語はもちろんのこと、英語すらほとんど通じないので、嫌でももスペイン語を勉強せざるを得ない環境です。また言語に限らず生活の全てが挑戦の毎日で、普段は生活費を稼ぐためにアルバイトとして街で物売り（営業）的なことを、パラグアイの青年たちと一緒にやっています。もちろん片言、いや丸暗記のスペイン語で…。

日常生活の中でも、自分の日用品や携帯の充電器を気付けば他の人が使つていて、挙げ句の

現在パラグアイを訪れている土佐嘉孝さんから元気な便りが届きました。土佐さんは昨年派遣の第15回国際協力青年奉仕隊参加者です。

A group of six young men are sitting around a wooden table in a restaurant, smiling and making peace signs. They are holding various bottles of soda. The man in the foreground on the right is looking directly at the camera. The background shows shelves with more bottles and a menu board.

果て紛失したり、布団の上を土足で歩いて砂まみれになっていたり、基本こちらの人は大雑把で細かいことは気にしないようです。そんな毎日を過ごしていると一日が終わる頃には本当に疲れ切っている様な状態ですが、この環境がきっと自分を成長させてくれると信じて何とか頑張つています。

パラグアイでスペイン語をバリバリ習得中。

地に着くことができました。そんな些細なことが、海外生活の良さなのかもしれません。



パラグアイでスペイン語をバリバリ習得中。

第16回環境問題研究会セミナーを開催



六月十八日午後一時半より、川崎市のすぐらむ21多目的室において、第16回環境問題研究会セミナーが開催されました。テーマは「世界の環境問題と国連の役割—日本人からの見方」、講師は日本を代表した環境問題の権威である成蹊大学名誉教授、政策研究大学院大学(GRIPS)客員教授の廣野良吉先生で、38名が参加しました。



明快な講義が進行するセミナー。

間開発指標」は上昇していく、希望が持てる。地
球益を考えるべき国々が、本国益を優先するところに
大きな困難がある。成功へのカギは、合意の形成、
受入れ国の意見を聞くこと、パートナーシップの確立。
技術協力では言語能力が重要。（小田記）



語る廣野良吉先生。

- 青年時代から国際舞台で現実世界の難問に取り組んでこられた先生が、テーマを環境問題に絞つて語られました。深い講義内容をわずか一時間に濃縮して話されたため、あつという間に時間が過ぎ去りました。

第11回パンタナール一日研修会ご案内

この夏のパンタナール一日特別研修会（ワンデイセミナー）は、一ヶ月後に迫りました。最新の現地映像を含め、私たちの17年にわたる着実な理想郷建設の歩みを紹介いたします。

セミナーご案内

日時 二〇一六年八月六日（土）十時より受付、十時二十分開始、午後五時終了。

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

国際棟二階セミナールーム

参加費 二〇〇〇円（昼食を含む）

参加を希望される方は、八月一日までに、応募用紙に必要事項をご記入の上、ファックスかメールで下記の当法人事務局あてお送りください。応募用紙の必要な方は、下記の当法人事務局にご連絡ください。

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会
共催 NPO法人 地球の緑を守る会

プログラムと講師紹介



柴沼邦彦講師



高津啓洋講師

第十六回国際協力青年奉仕隊員を選抜

来る八月に派遣される第十六回国際協力青年奉仕隊員は、全国から三十名を超える応募がありました。隊員の選考は、五月二日と六月二日の二次にわたりて事務局で行われ、十三名が選ばされました。



選考風景(事務局)

ほど。選考委員は、ワールドカップ日本代表チームの監督になつたように、チーム造りという観点も含めて隊員を選抜しました。今回選ばれなかつた方たちは、ぜひ次回以降も応募してください。

引き続き、第十六回国際協力青年奉仕隊活動へのご支援をお願い致します！

今年の第十六回国際協力青年奉仕隊活動へのご支援をお願い致します！



ビバー！(レダ植樹活動)

多くの時間、奉仕できるよう、ご支援をお願い致します。使い残された、はがき、年賀はがき、書き損じはがき、未使用の切手などを下記の事務局あてお送りください。また支援金も感謝しております。

- 「地球環境問題救済の道」講師：高津啓洋
- P.O. 地球の緑を守る会代表理事：生涯を世界と日本の植樹活動と啓蒙に奔走。大の昆虫好き。
- 講師：柴沼邦彦：当法人理事
- 國際協力青年奉仕隊を第14回まで引率した、青年指導のエキスパート。

支援金送り先：郵便口座
記号 一〇二八〇

一般社団法人南北米福地開発協会 事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15
岩崎ビル4F

電話：044-829-2821
FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行（旧一般会員会費納入）

記号10280 番号61349751

一般社団法人南北米福地開発協会

Eメール：office@asd-nsa.com
ホームページ：<http://asd-nsa.com>

会員種別

◆会員一口1000円／月

◆特別会員一口1万円／月

◆法人会員一口1万円／月

※いずれも口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行

00290-5-113072

加入者名：(シャ)南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

◆入会申込書は、左記の事務局にお申しつけください。ホームページから入手できます。

お便り募集



読者の皆様からのお便りを募集します。本紙記事へのご感想や提案、皆様個人やご家庭での歩み、あるいはグループや支部での活動と関連写真、イラストなどをお待ちしています。宛て先は、事務局 office@asd-nsa.comへお願いします。